



平成19年度 大学コンソーシアムやまがた事業報告書

今年度、新たに、県立産業技術短期大学校および県立農業大学校が加入し、より一層充実した大学コンソーシアムとして、教育連携（合同説明会、単位互換）、地域活動（学生活動）、図書館連携、教職員の交流・連携、高大連携、広報等の各種事業を展開した。また、県からの委託により「学生による山形の魅力発信事業」、県と共同として「やまがたサイエンスカフェ事業」を実施した。

教育連携 教育連携部会担当

1 学生募集の共同化に関する事業

- (1) 大学等合同説明会の開催 宮城県の高校生・保護者対象
・仙台市：6/9(土) 13:00-17:00 せんだいメディアテーク (参加者44人)
各大学の進学相談コーナー
- (2) 山形県大学ガイダンスセミナーの開催 高校生・保護者対象
※ 大学入試センターとの共同事業 (18年度からの継続事業)
 - ① 山形市：6/17(日) 11:00-16:00 山形大学小白川キャンパス (参加者39人)
・講演会 「平泉の世界遺産登録をめざして 一義経ゆかりの地、世界へ」
東北芸術工科大学芸術学部 教授 入間田宣夫 氏
・模擬授業2コマ×2時限、進学相談コーナー(教職員、在学生)、ハートシステム体験コーナー
 - ② 新庄市：7/7(土) 13:00-16:00 新庄市民プラザ (参加者76人)
(サイエンス・カフェ、山形大学“移動大学祭”と同時開催)
・模擬授業2コマ×2時限、進学相談コーナー(教職員、在学生)、ハートシステム体験コーナー

2 単位互換に関する事業

(1) 単位互換の推進

- ① ゆうキャンパス・コーディネート科目の開講(新規事業)
・後期に「ゆうキャンパス・コーディネート科目」として、キャリア教育科目『業界研究事始め』を山形大学の教養教育科目として開講 (履修登録者57人/山形大55、米短大2)
・講師：藤庄印刷(2コマ)、NHK山形放送局(2コマ)、山形銀行(3コマ)、片桐製作所(1コマ)、山形県(2コマ)、山形富士通(2コマ)、ヤマザワ(2コマ)、ガイダンス(1コマ)で、計15コマ
- ② 単位互換実施体制・環境の整備充実
・単位互換ポスター・パンフ作成、利用の促進 2,500科目開講
・利用者：前期/7人・8科目、後期/14人・14科目

(2) eラーニングの推進

- ・ビデオ・オン・デマンド方式で推進する。 前期8科目、後期9科目開講
・利用者：後期5人(米沢女子短大4人、鶴岡高専1人)
- ① eラーニング担当教員・実務担当者研修会
・5/22「教育著作権セミナー」を開催 (参加者50人)
講師：メディア教育開発センター 教授 尾崎史郎 氏
- ② eラーニング実施体制・環境の整備充実
・ウェブカメラを整備/各機関(除：放送大、産短大)へ配付(2/6)

地域活動 地域活動部会担当

1 学生活動に関する事業

- (1) 地域づくりセミナー
※ 山形県の地域活動支援事業(新規)

- ・学生が地域活性化の可能性について実践的に学ぶセミナー
- ・小国町において「地域づくりセミナー2007 in おぐに」を実施中
 - 第1回：8/20（月）～22（水）に実施（参加者14人／学生9、教職員8）
(学生内訳／公益大6、山形大1、米短大2)
 - 第2回：11/23（金）～25（日）に実施（参加者15人／学生8、教職員7）
(学生内訳／公益大3、山短大5)
 - 第3回：3/1（土）～3（月）に実施（参加者15人／学生11、教職員4）
(学生内訳／公益大6、山短大5)

(2) 学生交流・連携活動支援

- ・コンソーシアム学生スタッフ（ゆうキャンパス学生組）による「やまがたを元気にしよう！」の企画実施支援（学生の力によって、地域の賑わい創出や地域住民との交流を図り、地域活性化を図るため、学生が中心となり独自に企画・実施する事業を支援）

①学生企画交流合宿

- ・大学間の学生の交流を図る。また、学生企画について話し合う。

②学生企画委員会

- ・コンソーシアム学生スタッフが中心となり独自に企画するための組織を支援

③大学間の学生活動に対する支援

- ・コンソーシアムの学生間（複数機関が望ましい）の交流を目指し、地域活性化を図るためコンソーシアムの学生が行う事業で、内容的に優れた活動を選定し支援
- ・3団体に支援（@6万円）
 - i. 「ノートテイクサークル」（米沢女子短大－東北公益文科大と連携）
 - ii. 「蔵プロジェクト実行委員会」（東北芸術工科大－山形大と連携）
 - iii. 「環境戦隊エコレンジャー」（東北公益文科大－山形大・農と連携）

(3) 学生による山形の魅力発信事業（新規事業）

※ 山形県の若者・青少年グループ活動活性化事業（委託事業）

- ・学生の視点で、県内で活躍する若者を取材し、その記事をホームページで公表することにより、全国に山形の魅力を発信する。
- ・県内で活躍する若者16人に取材し、現在、順次ホームページに掲載中

2 市民向けサービス提供に関する事業

(1) 共同企画による公開講座の開講

- ・教職員交流・連携事業の講演会・シンポジウムに統合
- ・地域づくりセミナーの報告会を兼ねて、新年度に、ゆうキャンパスセミナー「ゆうキャンパスと地域貢献－5年目の大学コンソーシアムやまがたを考える－」（仮題）を開催予定

図書館の連携 学術情報部会担当

1 学術情報発信・広報に関する協力

(1) ※ 機関リポジトリによる学術情報発信のサポート

- ・コンソーシアムの機関で生産される学術情報を一元的に蓄積し、山形の地から全世界へ直接情報発信を行うことを目的とした、機関リポジトリ（「学術成果発信システムやまがた」）構築事業
- ・紀要論文等を電子化し「ゆうキャンパスリポジトリ」で公開

山大、保健大、米短大、公益大、鶴岡高専、羽陽短大、産短大 が公開済み

(2) 各図書館の広報誌等の交換、設置

(3) ※ 各機関発行の紀要等の電子化のサポート

2 利用者サービスに関する協力

- (1) 学生、教職員、市民に対するサービス面での協力
- (2) 「ゆとり都OPAC」との連携による地域貢献

3 各大学図書館職員の連携

- (1) 情報交換、情報流通
- (2) 図書館職員向け研修会への相互参加
 - ・講演会「大学コンソーシアムやまがたの活動と地域リポジトリ」
1/22(火) 山形大学小白川キャンパスで開催 (参加者42人)

教職員の交流・連携 総務運営委員会担当

1 教職員交流・連携に関する事業

- (1) 地域活動・学生活動に関する講演会・シンポジウム
 - ・地域づくりセミナーの報告会を兼ねて、新年度に、ゆうキャンパスセミナー「ゆうキャンパスと地域貢献 - 5年目の大学コンソーシアムやまがたを考える -」(仮題)を開催予定

2 全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムへの参加

- ・教育ネットワーク中国(広島県)担当で9/15(土)・16(日)に開催の全国フォーラムに2人参加し、情報交換
- ・全体シンポジウム「連携の意義を問う」で、中村・総務運営委員会委員長が司会を担当

3 他コンソーシアムとの交流、訪問調査

- ・6/2に、仙台市で開催された私立大学連盟のフォーラムに仙道会長が招待講演
- ・7月/三菱総研、12月/高等教育コンソーシアム熊本、3月/大学評価・学位授与機構、3月/広島大学、3月/大分大学から訪問視察

高大連携 総務運営委員会担当

1 高大連携に関する事業

- (1) 山形県大学ガイダンスセミナーの開催 . . . 大学・高校教員等対象

※ 大学入試センターとの共同事業(18年度からの継続事業)

- ・高大連携フォーラム「-高校と大学の教育改革から、やまがたの高大連携を考える-」
10/18(木) 鶴岡市・東北公益文科大学鶴岡タウンキャンパスで開催 (参加者55人)
特別講演:「高校・高校生の現状とこれからの高大連携を考える」
立教大学総長室調査役 足立 寛 先生

パブリケーション: 鶴岡南高、鶴岡北高、鶴岡中央高、山大、公益大、鶴岡高専、山形県各機関の教育改革の紹介パネル展示、意見交換

- (2) やまがたサイエンスカフェ(新規事業)

※ 県との共同事業

- ・学生による実行委員会が、高校生等と科学者との語り合いの場を企画・運営、6回開催予定
- 第1回: 7/7(土)11:30-12:30(新庄市民プラザ) 山形大学 柴田晋平先生 (51人)
- 第2回: 9/22(土)14:00-16:30(山形市・山形大学) 日本化学会会長 藤嶋昭先生 (41人)
- 第3回: 10/21(日)13:20-15:30(鶴岡高専) 鶴岡高専 横山正明先生、菅原晃先生(30人)
- 第4回: 11/25(日)14:00-16:00(山形市・山交ビル) 山形大学 嘉山孝正先生(25人)
- ・カフェと準備の様子が、12/9の県政広報番組「夢未来やまがたサンデー5」(YBC)で紹介された。
- 第5回: 12/16(日)14:00-16:00(米沢駅) 山形大学 ライエル グリムペルゲン先生(11人)
- 第6回: 3/16(日)13:45-16:00(山形市・サピオズ)

(独)宇宙航空研究開発機構名誉教授 上杉邦憲先生(15人)

広報 総務運営委員会担当

1 広報に関する事業

- (1) 共同ホームページ管理・充実 . . . 管理運営、新着情報紹介等

- ・ 5月から、独自のサーバーによる管理方式に変更し内容を充実
- ・ 各機関、各部会等でホームページを更新、事業報告、イベント紹介、情報公開等を実施
- (2) パンフレット・・・改訂版を作成（10,000部）
- (3) 広報誌の発行・・・3月に「ゆうキャンパス・プレス」第2号を発行（16,000部）
（取組事業の紹介・報告、PR）
- (4) オープンキャンパス情報発信
 - ・ 7月に各機関のオープンキャンパスの情報をまとめたチラシを作成・各高校に配付

※ 次の事業に係る経費は、コンソーシアムの収支とは別会計となるものである。

- ① 大学入試センターとの共同事業
- ② 図書館の連携の機関リポジトリ事業
- ③ やまがたサイエンスカフェ事業